

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県緑が丘スポーツ公園	所管課	スポーツ健康課
所在地	甲府市緑が丘2-8-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和39年5月1日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の緑の中核として、活力ある長寿・福祉社会の形成、都市のうるおい創出に資するとともに、自然とのふれあい、コミュニティの形成、広域レクリエーション活動等県民の多様なニーズに対応する。		
主な施設内容 (定員等)	大体育館(固定席1,068席)、小体育館、柔道場、剣道場、弓道場、洋弓場、宿泊施設(定員100名)、屋内プール(25m×15m) 都市公園部分の施設(園路、緑地、広場、駐車場、駐輪場等)		
主な業務内容	施設の運営及び維持管理業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)小瀬スポーツ公園:利用者数643,314人 (2)富士北麓公園:利用者数174,413人 (3)県立青少年センター:体育館、研修室・会議室、宿泊施設、運動場、屋内プール等
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	体育館	150,536	54,417	54,330	
	屋内プール	27,754	11,923	26,924	
	その他体育施設	32,950	12,118	18,643	
	宿泊施設	1,812	952	2,094	
	会議室、研修室	11,439	7,447	10,769	
	利用者数合計	224,491	86,857	112,760	
	目標値	170,000	100,000	163,000	180,000
	目標値設定の考え方	過去3年間の平均を基準とし、大規模大会や施設改修による閉鎖期間等で調整した数値とする。	過去3年間の平均を基準とし、大規模大会や施設改修による閉鎖期間等で調整した数値とする。	平成21年度の実績から、大体育館と小体育館の閉鎖期間の利用者数を控除した数値とする。	平成21年度の目標値を基準とし、平成24年度は全国大会が予定されているので利用者増を見込む。
対21年度比	100.0%	38.7%	50.2%	80.2%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	6,732,959	14,304,000	10,475,421	14,652,000
	指定管理者委託料	71,624,000	75,254,000	70,009,000	75,399,000
	その他				
	収入合計(A)	78,356,959	89,558,000	80,484,421	90,051,000
支出	人件費	25,797,267	33,647,000	35,371,345	35,286,000
	県への納付金				
	管理運営費	46,400,377	55,911,000	44,574,717	54,765,000
	(うち外部委託費)(B)	13,763,972	22,602,000	19,033,296	22,769,000
	支出合計(C)	72,197,644	89,558,000	79,946,062	90,051,000
収支差額(A-C)		6,159,315	0	538,359	0
外部委託比率(B÷C)		19.1%	25.2%	23.8%	25.3%
利用者一人当りの経費		825	462	621	419

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 体育館: 平成23年9月、平成23年1月 スポーツ会館: 平成23年5月、9月、平成23年1月 実施方法: 施設利用者へのアンケート、回答数: 281人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備状況	51.2%	34.2%	13.2%	1.4%
②開館日	87.2%	0.0%	12.6%	0.2%
③開館時間	91.5%	0.0%	6.4%	2.1%
④利用予約・手続き	59.4%	33.8%	6.0%	0.8%
⑤施設利用料	41.7%	47.3%	8.5%	2.5%
⑥接客対応	68.3%	22.4%	2.1%	7.2%
⑦全体としての満足度	56.5%	32.0%	4.0%	7.4%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットゴールを早く直してほしい。 ・古くなった器具を更新してほしい。 ・接客対応について、感じが良く明るく対応してくれたと評価をいただいた。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度にバスケットゴールの更新を行う予定である。 ・今後の財政状況を踏まえ検討していく。 ・接客対応について、今後もより満足いただけるよう利用者サービスに努める。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	条例、仕様書等に基づいた事業計画書に沿って適正に業務を執行した。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	体育館の耐震工事の工期に変更があったが、可能な限り早期に対処し、利用者サービスの向上を心掛けた運営を行った。	施設の運営業務については、体育館の耐震工事による施設の閉鎖がある中、利用者への対応等で大きなトラブルもなく運営できていた。事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	子供を対象とした事業は増加傾向にあるが、一般成人を対象とした事業については、参加者の増加が得られず、内容等提携先と検討を進め利用促進につなげたい。	自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画するとともに、利用者のニーズ合った内容を検討し、サービス向上に努めること。
利用状況	体育館で実施されていた工事の工期に変更が生じたが、可能な限り早期に利用者へ周知を行い、利用促進に努めた。	利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。
収支状況	経年劣化により増大する施設修繕を積極的に行いながらも、人件費の削減や節電等により、計画以下に支出を抑えることができた。	利用者の安全性の確保や利便性の向上に必要な施設修繕を行うなかで、計画以上に支出を抑えていることは評価できる。
利用者満足度	体育館耐震他改修工事では、利用者ニーズが可能な限り反映されるよう、所管課・施工業者と積極的に協議を行った。今後は更に利用者ニーズの的確な把握に努め、利用者サービスの向上につなげたい。	体育館の耐震工事中や部分的な施設の供用開始などにより、利用者の安全確保や利用者の日程調整等難しい状況であったが、大きな事故もなく対応できたことは評価できる。引き続き、対応可能なニーズに対しては迅速な対応をし、今後とも利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めて頂きたい。
運営目標の達成状況	総利用者数(112,760人)は目標総利用者数(163,000人)を下回っているが、大体育館耐震工事及び弓道場改修工事の延期による閉鎖期間の延期、部分的な供用開始が影響したことによる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については適正に実施されている。また、本施設は老朽化が著しく、平成23年度の体育協会が実施した小規模修繕は34件に上った。それだけの修繕があるということは、利用者への説明・対応などを含め、難しい対応を迫られていると思うが、そのような中で大きなトラブルや事故もなく管理している点は大いに評価できる。 今後は、全施設利用可能となるため、一層の経費削減と利用客の確保に努めて頂きたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	工事期間中に確認された工事対象外の修繕必要部分については施工業者と積極的に協議を進め、施設の安全・快適性の向上に努めている。 経費については、現在の社会状況から電力に重点を置き、利用者サービスを低下させぬよう留意しながら削減を図っている。 利用者確保については、施設の予約状況を中心に施設情報の周知をさまざまな手段を利用し図っている。	

7. 管理体制(組織図)

